



栄小学校だより

令和4年6月2日(木)

No.9

○学校環境デーの取組について

6月1日(水)の5限目に、全校児童にて「学校環境デー」の取組を行いました。

栄小学校では、平成8年度より、6月7日を「学校環境デー」と設定し様々な環境教育を行っています。環境教育の推進を図る目的から、栄小幼稚園と合同で校内除草作業を行いました。校庭・園庭の草抜きや学校の溝さらいなど学年に応じて、作業場所を設定し取り組みました。幼稚園や1年生は、5年生・6年生のお兄さん・お姉さんと仲良く作業をします。

短い作業時間でしたが、みんなが一生懸命取り組んだ結果、軽トラック約1台分の草が集まりました。



○観劇をしました

6月1日(水)の3限目・4限目は、みんなが楽しみにしていた、「観劇」を行いました。

コロナ禍の中、なかなかできない年が続きましたが、今年は感染症対策を行いながら無事実施することができました。

劇団「うりんこ」による、演目「きみがしらないひみつ」です。

プロによる演技は、「さ・す・が・!」としか言えないもので、栄小体育館に作られた臨時の舞台が、演者の演技・踊り・歌声で市民会館や県総文ホールに負けないものとなります。その迫力に子どもたちが演者に吸い込まれていきます。プロによる高いレベルの文化的なものに触れることは、とても良い経験となりました。



○調理実習を行いました

5月、家庭科で調理実習もスタートしました。5月20日(金)には、5年生が初めての「調理実習」です。メニューは、「ほうれんそうのおひたし」と「ゆでじゃがいも」です。

授業見守りボランティアの方々にもお世話になりながら、実習を行いました。

包丁を使用しますので、慣れていない子どもは「おっかなびっくり!」な様子。できあがった物は、おかず弁当にして、教室で給食時においしくいただきました。

コロナ禍の中ですが、徐々に学校生活が戻ってきています。



○3年 理科 蝶々の羽化

5月から3年生の教室前廊下や隣のスマイル教室で、蝶々(モンシロチョウとアゲハチョウ)の飼育(卵→幼虫→さなぎ→蝶々)をしています。時間をかけて、幼虫時には新鮮な葉を与えたり、糞等で汚れた下敷きを替えたり毎日頑張って世話をしています。

5月下旬のとある日、さなぎからモンシロチョウが羽化しました。

さなぎからゆっくりと外に出たモンシロチョウは、しぼんだ羽を時間をかけて広げます。

羽化という、その瞬間を目の当たりにした子どもたちは歓声を上げ担任に報告します。

子どもたちが小さい命と接することで、「生命(いのち)」について学び、自分にも他人にも優しい、豊かな心を育てていきます。



学校生活の様子

